

添付書類

『令和8年度診療報酬改定における歯科技工関連の解説』

超高齢化社会と少子化による人口減への対応が迫られるなか、個人が老後も健やかに暮らす観点からも健康寿命の延伸が不可欠であり、その中で歯科医療の持つ役割と責任は大きく、歯科技工士として安全で良質な補てつ物を安定的に供給することが求められています。

一方、歯科材料を含む物価高や真剣費の高騰により、歯科技工所運営は大変厳しい状況にあります。健全で持続可能な歯科技工所運営を行うためには、適正な歯科技工料での委託・受託が不可欠であり、歯科補綴物の作成を委託する側の歯科医療機関と受託する側の歯科技工所の双方が、歯科技工に関する保険点数の仕組み等、共通の認識の下、適正な歯科技工料金での委託・受託が行わなければなりません。

今回は、健全な歯科技工所運営の一助となるよう、改定が行われた歯科技工関連等の個別項目と社会保険歯科診療報酬における歯科技工関連の仕組みについて解説いたします。

以 上

◎時見高志講師略歴

◎時見高志 略歴

- ・1979年 新大阪歯科技工士専門学校卒業
- ・1989年 時見歯研設立
- ・1993年 有限会社プラス ONE に法人化
- ・1999年 (社)大阪府歯科技工士会理事(技対・自営担当) 就任
- ・2005年 (社)日本歯科技工士会常務理事(歯科技工所運営対策担当)
- ・2006年 日技認定講師名簿登録
- ・2008年 (社)大阪府歯科技工士会会長就任
- ・2012年 (公社)日本歯科技工士会副会長(歯科技工管理担当) 就任
- ・2014年 (公社)日本歯科技工士会副会長(歯科技工管理担当) 再任
- ・2022年 日本歯科技工士連盟理事長就任

現在に至る